

地域とのつながりを密に

女性部通常総会

本JA女性部は4月12日、古川のパレットおおさきで第20回通常総会を開きました。平成30年度は、活動を通じてJAの自己改革を後押しすることと、活動の充実・強化に取り組むことを決定しました。

女性部の佐々木隆子部長は「地域活性化のために女性部は欠かせない存在になっている。私たち女性部の力で地域とのつながりを密にしていきたいと思います」と力強く述べました。

総会には、12支部から178人が出席。平成29年度の事業報告など4つの議案を可決承認しました。

総会終了後には、日本笑い学会東北支部会員の伊藤恵子氏を講師に「健康でいきいき活動するために」と題し、記念講演を行いました。歌やユーモア溢れる講演に出席者からは笑い声が絶えませんでした。



開会挨拶で地域とのつながり強化を呼びかける佐々木部長

新委員長に佐々木秀和さん

青年部通常総会



新役員を代表して抱負を述べる佐々木新委員長(左)

本JA青年部は4月11日、古川のグラウンド平成で第20回通常総会を開きました。各班から35人が参加し、事業計画や役員選任など4つの議案について可決承認しました。新委員長には富永班の佐々木秀和(ひでかず)さんが選出されました。

佐々木委員長は「盟友の協力を頂きながら活動の活性化を図っていきたい」と決意を述べました。

主な役員は次の通り。(敬称略)

委員長 佐々木秀和(富永)

副委員長 本田千尋(富永)

佐々木政彰(志田)

伊藤周公(西古川)

計 今野隆之(敷玉)

農産物検査の技術向上目指し

農産物検査員鑑定研修

本JAは4月17日、平成30年度最初の農産物検査員鑑定研修を本店で開きました。米穀などの品種や等級を鑑定し、個々の技術確認をしました。

本JAで資格を有する23人が参加。品種や等級別に分けて並べられた米穀・麦類・大豆の3品目を鑑定。結果は点数化され、各々の技術を確認しました。

本JAの担当職員は「近年、食品の品質に対する消費者の関心が高まっている。その信頼や期待に応えるべく、技術の向上に努めていきたい」と話していました。

本JAでは、定期的に農産物検査の鑑定研修を実施しており、年間5回の研修を計画しています。



米穀の鑑定をする本JA職員